

研究課題名

透析患者における psoas muscle thickness per height (PMTH) が生命予後に及ぼす影響について

研究責任者の氏名

矢島隆宏

共同研究者の氏名

荒尾舞子

研究の概要

目的: 透析患者においては、Protein-energy wasting (PEW: 体脂肪と筋肉の減少) という栄養障害が知られている。肝疾患や癌の領域で、CT で求めた psoas muscle thickness per height (PMTH: 腸腰筋の厚さ/身長) が生命予後予測因子であることが報告されている。しかしながら、透析患者における PMTH の有用性は不明である。今回、透析患者において、PMTH の PEW との関連、さらに全死亡、心血管死亡との関連を調査する。

対象と方法: 2008年1月1日から2019年12月31日の間に、当院外来にて維持透析患者の中で、癌のスクリーニング検査の一環として腹部単純CTを施行した患者さんを対象とします。カルテから、身長、体重、年齢、性別、既往歴、血液検査データ、観察期間内転帰(全死亡、心血管死亡)などのデータを収集します。また、第3腰椎のスライスで腸腰筋の最大の厚さを計測します。腸腰筋の厚さを身長で割った値をPMTHと定義します。匿名化した後に、PMTHに関連するパラメーターの評価をします。さらに、PMTHと生命予後との関係性を評価します。研究に関する記録は、研究終了後5年間保存した後に消去します。なお、研究の成果に関しては、学会発表や論文投稿する予定です。住所、氏名などの個人情報公開されることは一切ありません。

利用する情報の項目

身長、体重、年齢、性別、既往歴、血液検査データ、観察期間内転帰など

利用するものの範囲

医師: 矢島隆宏、荒尾舞子

連絡先

松波総合病院 腎臓内科 矢島隆宏

TEL: 058-388-0111

FAX: 058-388-4711